

59

写真撮影時のポイント、注意点について教えてください。

●やはり、事前の入念な計画が重要です。

① 役員、社長の撮影

多忙な方々ですから、あまり撮影時間をとれないのが常です。しかし、照明などの機材のセッティングまで含めると、一カットでも最低三〇分はかかります。撮影そのものは一〇分程度なのですが、機材のセッット、照明の調整、撮影後の後かたづけを含めると、そのくらいかかってしまうわけです。そこで、あらかじめ機材をセッティングした部屋に、社長や役員の方々に入ってもらいようにします。さらに、演出（肖像写真の場合はポーズ、集合写真の場合は並び方）、役員の並び順なども決めておけば、スピードアップが図れるでしょう。

② 事業所（執務風景）

事務所の内部を撮るには、事前に責任者との調整をしておきます。たとえば適度な数の社員にはいてもらったほうがよいですし、整理整頓も必要です。机上にあまり書類、文具類が散乱しているとみっともない写真となります。また、できればカメラマンに頼んでファイ

ダーをのぞかせてもらい、写真に写ると支障のあるものがないか確認をしてください。カメラマンなどの部外者にはわからない「支障」というのは結構あるものです。

パソコン操作、接客などの場面で、社員をモデルに仕立てて撮影することがあります。この場合はモデルの人選はなるべく事前に済ませておいてください。

③ 工場

事業所の撮影での注意点とほぼ同じです。特にヘルメットや作業着、作業靴など安全管理に関わる事柄については要注意で、モデルになる人だけでなく遠景に入る可能性のある人も含めて周知徹底しておきます。

季節にも配慮します。半袖の夏服では無用の季節感を強調してしまいますし、葉を落としたり冬季の木立も同様です。その意味で、撮影計画は早めに立てることをおすすめします。また、戸外の場合は、空の青さ、日光の角度によっても撮影できなくなりますので、綿密な撮影計画と、雨天・曇天時の予備日の設定もしておきます。

ところで、電線や看板、あるいはその影などが写り込んでしまうことがあります。最近ではコンピュータ処理技術の発達によって、かなり細かいものまで修正が可能ではありますが、それなりに費用はかかります。そういうものが入らないような角度から撮影可能ならば、それを選ぶにこしたことはありません。